

# 精神科領域に携わる医療職の為の 初めての心身アプローチ ～拘縮予防&関わる際の観るべき視点～

## 【疾患だけではなく高齢化にも伴い起こるADLの障害因子】

現在日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、長年入院している患者さん・地域で暮らす患者さんも高齢化による身体機能・精神機能の低下が起っています。精神科だから身体機能を見なくてもいい時代は終わりを迎え、精神科領域だろうと身体機能を、身体領域だろうと精神機能へのアプローチが必要であり対応できる人材やシステムが必要な時代となっています。その中でも**拘縮**という症状は疾患を問わず出現し、ADLの障害因子の一因となります。

## 【新人から中堅が改めて観るべき、関わる際の視点】

私たちは、患者さんからの悩み相談や問題解決、さらに職場の仲間との報告・連絡・相談など毎日膨大な量の「コミュニケーション」を行なっています。改めてその「コミュニケーション」にとって必要な考え方とコツを一緒に考えていきたいと思えます。

キーワードは**2つ**あり、「**有害援助**」と「**原因探し**」です。

普段何気なく行っている「コミュニケーション」は私たちの仕事の根幹を担うものであり、無意識のうちに相手との関係性をも決めてしまうものです。その際に起こっている有害援助と原因探しがどのようなものかを理解し、自分のコミュニケーションを一緒に確認しましょう。

## 【本研修で得られることは？】

疾患を問わず、病床や地域での高齢化で起こり得る**拘縮に対するアプローチ方法と自身のコミュニケーションを再確認・再構築**することが可能です。実際どうなるかを臨床でおこなうのかを講義とワークを通して体験していただき、明日からの臨床に活用できるものを持ち帰っていただきます。



対 象：精神科病院・クリニック・DC勤務・精神科訪問看護の  
作業療法士・看護師・医療従事者

参加費：各日¥7,000円（両日申し込みは12,000円）

申し込み締め切り：2020年2月29日（土）まで

■■お申し込み方法■■■ 下記アドレスに内容記載の上、お申込みください。

MBIM研究会 ✉ [mbim.society@gmail.com](mailto:mbim.society@gmail.com)

題名：MBIM研究会 初めての心身アプローチとし、本文に

- ①氏名 ②所属 ③職種 ④経験年数 ⑤研修会で得たいこと  
⑥当日連絡のつく電話番号とメールアドレス

日時：2020年3月8日（日）：拘縮

4月5日（日）：コミュニケーション

両日ともに13：00～18：00

場所：医療法人 三家クリニック（大阪府寝屋川市八坂町29-1）

<https://www.mitsuya-clinic.jp/access>